

明治後期産業発達史資料 No.15

全4篇・計51冊・資料数74

揃本体価 1,173,000円

第15期セット：ISBN978-4-8447-0002-9 ¥1173000E

第15期

- ◆ 農林水産一班篇(11) 第815～第827巻(計13巻)
- ◆ 府県産業篇(12) 第828～第843巻(計16巻)
- ◆ 外国事情篇(11) 第844～第852巻(計9巻)
- ◆ 経済・社会一班篇(9) 第853～第865巻(計13巻)

配本予定

開始 平成 20年11月
終了 同 21年6月

■■■■■■■■■■既刊内容紹介■■■■■■■■■■

100部限定

14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	期
府県産業一班篇(8)	府県産業一班篇(9)	府県産業一班篇(10)	府県産業一班篇(11)	府県産業一班篇(12)	府県産業一班篇(13)	府県産業一班篇(14)	府県産業一班篇(15)	府県産業一班篇(16)	府県産業一班篇(17)	府県産業一班篇(18)	府県産業一班篇(19)	府県産業一班篇(20)	府県産業一班篇(21)	府県産業一班篇(22)
18	17	19	11	11	10	10	17	15	8	7	16	9	17	
計 57	計 52	計 66	計 55	計 40	計 59	計 56	計 49	計 55	計 51	計 37	計 51	計 53	計 17	
789 779 769 757 751 5 5 5 5 5	730 710 695 685 5 5 5 5 5	645 651 641 626 5 5 5 5 5	611 590 574 563 5 5 5 5 5	539 521 504 491 5 5 5 5 5	481 462 446 436 422 5 5 5 5 5	407 397 387 377 364 5 5 5 5 5	350 335 323 310 5 5 5 5 5	291 281 268 260 250 5 5 5 5 5	237 220 210 201 192 5 5 5 5 5	181 172 160 140 5 5 5 5 5	128 118 106 88 5 5 5 5 5	80 62 53 43 5 5 5 5 5	1 5 5 5 5 5 5	
814 788 778 768 756	750 729 709 694	684 646 650 640	625 610 589 573	562 538 520 503	490 480 461 445 435	421 406 396 386 376	363 349 334 322	309 290 280 267 259	249 236 219 209 200	191 180 171 159	139 127 117 105	87 79 61 52	42	
26 10 10 12 6	21 20 15 10	20 14 10 15	63	72	69	58	54	60	58	52	52	45	42	
64	66	59												
一、四七二、〇〇〇円	一、五一八、〇〇〇円	一、三五七、〇〇〇円	一、四四九、〇〇〇円	一、六五六、〇〇〇円	一、五八七、〇〇〇円	一、二七六、〇〇〇円	一、一八八、〇〇〇円	一、三二〇、〇〇〇円	一、二七六、〇〇〇円 (残僅少)	一、〇四〇、〇〇〇円 (残僅少)	一、〇四〇、〇〇〇円 (残僅少)	八二〇、〇〇〇円 (品切)	七二四、〇〇〇円 (品切)	

(冊数)トドマシ

第十五期刊行にあたって

本期は経済・社会面の資料に重点を置いて収録を計った。

◎農林水産一班篇(十一)

本資料シリーズ第五期で我国輸出重要品の概要(第一次・明治29～31年)資料を収録したが、本期では続く第二次(明治30年～35年)輸出重要品の概要を鳥瞰する資料を収集した。そこには量的増大と共に新たに「工産物」「林産物」「鉱産物」が加わり、輸出品目数自体が拡大して行った姿が読みとれる。

◎府県産業篇(十二)

明治後期は経済的發展と共に社会的コミュニケーションの充実とスピード化が求められ、情報源として人名録・知識辞典・地図案内物等が豊富に現われて来る。「大日本商人録」・「東京著名録」などがその一例である。また島嶼情報として「小笠原及八丈島記」を加えた。農家経済を支える副業問題資料として「副業問題の手引」も加えた。我国の産業構造の変動に係わる資料である。また法制的に地方制度を徹底し組織の整備を計った史料として「地方制度」・「市町村制説明資料」も収めた。

◎外国事情篇(十一)

一九〇〇年に始まった巴里万国博覧会前後に開催された「西国バルスローヌ万国博覧会」・「一九〇一年英国グラスゴー万国博覧会」・「一九一二年日英博覧会」の三点を収録。海外産業事情を知る貴重な史料である。また日常生活からみた普段着のアメリカの姿を紹介したものが「紐育」である。「英米における労働者餘暇利用法」など庶民都市生活者に目を向けた史料も収めた。タイムラゲはあるが先進国庶民生活の興味ある社会動向として加えた。

◎経済・社会一班篇(九) 特徴的なものを列举する。

民法弁疑 和佛法律学校参考書、法治国家体制の確立を急ぐ明治期、法曹家育成用に編纂された法解釈実務書。数多くの具体例を問答形式で記述。

江都名家墓所一覽 江戸の人岡田老樗軒の著。文化一五年板行の翻刻版(五〇〇部)。江戸府内及び関以東に散布した慶長以来文化に到る諸名家621人の墓所・名字・稱号・職業・没年月等を詳述した稀覯書。

立志起業東洋立志編全 各界成功者64人の略紹介と彼等の信念「偉業論」を26項目にわたって説く。若者の青雲の志を鼓舞し、資本主義揺籃期の人材育成と産業立国を目指す時代の反映か。

牛乳衛生警察

都市生活者の食卓になじんで来た牛乳とその加工食品の衛生を論じる。食生活の欧風化の一面を描く。

海上衝突豫防規則(明治7年1月)

全20条・追加・附言より成り、詳細に且つ図解入りで説明してある。明治初期よりすでに港湾での船舶衝突事故多発が問題だったことがうかがえる。

記者探訪裏面の東京

一記者の放浪生活を通して描いた明治東京の庶民生活の特に底辺の一端を描く。社会学的「都市問題」の萌芽を意識させる史料。

日本刀

神秘的伝説に彩られた日本刀の「強さ」を沿革・鑑定法・保存法・各流派の特色、刀匠の掟など全国規模にわたる調査によって総合的に分析。多数図入り。文化論的観点で採録した。

地下水利用論

都市の發展と共に発生してきたさまざまな問題のうちから具体例の一つとしてとり上げた。

編集 龍溪書舎



龍溪書舎

〒179-0085 東京都練馬区早宮2-2-17
TEL 03(5920)5222(代)・振替00130-1-76123
FAX 03(5920)5227
<http://www.ryuukei.com>